

目次 (47-61) 節

61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47
伝統や習慣には異論ない	まあお前こそ猫みたい	ニコニコしながら見ている	困らせてはいかんと思った	気持ちは急いでいる	浪人は考えられない	かわいらしい人やなあ	頭に浮かべながら眠る	僕は被害者でもないのですぐ退去	嫌われても皆の為にいつ迄も	まあそれも僕の過失	時がたたなきやだめなんだ	僕の気持は複雑だった	また理屈を書いた	人生の最高点はいつも今だ
270	266	262	258	252	248	244	238	232	228	226	222	212	208	200